



風の子 太陽の子

浜松市立相生小学校

令和5年1月10日

～ 兎のように、耳でよく聴き、相手を大事にしよう！
兎のように、目と鼻を働かせて興味を広げたり、
善悪の判断をして行動したりしよう！
兎のように、自慢の足で飛躍の（跳びはねる）年にしよう！～

校長 鈴木 晶子

新年明けましておめでとうございます。令和5年の幕開けです。新型コロナウイルスの感染拡大が私たちの生活に大きな影響を与えていました。まだまだ油断できない状態が続きそうですが、令和5年の卯年は、今まで3年間から大きく「飛躍」する年にしていきたいと思えます。変わらぬ御支援、御協力をよろしく申し上げます。兎年にちなんで、相生小学校の子どもたちに3学期頑張ってもらいたいことをお話ししました。



1つ目は、兎のように、二つの耳でしっかり相手の話を聴きましょうということです

授業中の学び合い、生活の中での認め合い、運動での鍛え合いどんな場面でも、相手が何を言おうとしているのか、どんなことを思っているのか二つの耳をレーダーのように動かしてしっかり聴きましょう。それは、相手を大事に思っている証拠です。友達や先生、家族、地域の人などみんなを大事にし、温かくかかわる太陽の子さんになりましょう。

2つ目は、自分の目や鼻を働かせて、視野を広くもって興味を広げたり、善悪の判断をして行動したりしましょうということです。

兎さんのように355度までの視野や10倍の嗅覚はないかもしれませんが、自分の目や鼻を働かせて、視野を広くもって勉強したり運動したり、遊んだりしましょう。兎の目になって観れば、自分の興味のあることが見付かったり、今まで知らなかった世界が広がったり、友達の良いところに気付いたりすると思えます。また、兎さんのように鼻を働かせて、「人を傷付けるようなちくちく言葉を使ったらまずいぞ」、「これは自分のわがままだからみんなを困らせそうだ」、「学級や学校 みんなが気持ちよく生活するためにルールを守って生活しよう」などと考えて動くといいですね。

3つ目は、自分らしさを大切に、目標に向かって全力で跳びはね、飛躍の年にしましょう。

兎は地面をけりながら障害物を跳び越えていきます。時速80kmというスピードやジャンプ力をもっています。皆さんも自分の夢や目標に向かってあきらめずに挑戦する風の子になり、飛躍する年にしていきましょう。さらに、学級の友達の良さを全員分言えるようになってほしいです。友達が跳びはねようと頑張っているところを見逃さずに認め合えるすてきな風の子、太陽の子さんでいっぱいになりましょう。



温かく
かかわる力



自分を
高める力



あきらめずに
挑戦する力



夢をもち
つなげる力



浜松市立相生小学校
キャリア教育を
推進しています。